

平成26年度 第45回 関東中学校サッカー大会(山梨大会)

No 9

日時	平成26年8月9日		9:30	試合形式	60-10-PK			会場名	葦崎中央公園陸上競技場										
天候	曇り			気温	25.5℃	湿度	61%	風	無し		ピッチ状態	観衆数							
主審	佐藤 太是		副審1	野澤 和人		副審2	森戸 秀徳		芝	良		観衆数							
			第4審判	齋藤 裕一		記録担当	米倉 秀、仲田 邦彦		表面	良		500人							
東京都 第1代表	多摩大学 目黒中学校						1	1	前半	2	神奈川県 第1代表								
							0		後半	1	桐蔭学園中学校								
									延長前										
									後										
	Kick off								PK		Kick off ○								
交代	OUT時間	シュート			得点	先発	選手名	番号	位置	選手名	先発	得点	シュート	OUT時間	交代				
No	Rin	後	前	計									後	No	Rin				
							山部 楽人	1	GK	津下 純也									
							森井 琉斗	2	DF	新谷 有輝	○	2	5	×○××	○	57	60+1		
41	in						中村 一聖	3	DF	大池 竜慈	○								
							河合 一輝	4	DF	新谷 卓也	○								
							國峯 颯大	5	DF	千葉 恭馬	○	5	××××	×					
							善甫 直久	6	DF	森山 翔介	○								
						×	秋元 浩希	7	DF	眞田 勲良	○	1	×						
41	3						松田 凜太郎	8	MF	新川 涼	○	1		×					
							伊藤 良平	9	FW	谷川 滉介	○						49		
							中村 亮太	10	FW	岩坂 公陽	○	1	2	○	×		18		
50	22						花島 涼日	11	MF	依田 興汰郎	○								
							幸田 楽歩	12	GK	高畠 悠史									
							佐藤 明俊	13	MF	鳥山 歩生									
							関澤 海	14	MF	市村 圭吾									
							大淵 理能	15	MF	高平 賢正									
							山木 皓斗	17	DF	生島 嘉威斗									
							鎌田 翔太郎	19	DF	目黒 雄大							57		
50	in						陸野 泰勢	22	FW	田中 瑛史							49		
																	in		
警告・退場				監督				監督				警告・退場							
ラフプレー	國峯 颯大			5	警	39	分	石川 智啓	松田 隆			分							
							分	後	前	チーム合計	前	後							
							分	半	半		半	半							
							分	4	6	10	シュート	14	10	4					
							分	4	6	10	GK	9	5	4					
							分	3	1	4	CK	1	0	1					
							分	7	5	12	直接FK	12	7	5					
							分	0	0	0	間接FK	0	0	0					
							分	0	0	0	オフサイド	0	0	0					
							分	0	0	0	PK	0	0	0					
得点時間	得点チーム	NO	得点者	スコア	得点経過 例 ~:ドリブル →:ゴロパス ○:浮き球パス *:混戦 S:シュート H:ヘディング														
11	桐蔭学園中学校	2	新谷 有輝	0-1	左10	右2S(H)													
29	目黒中学校			1-1	左7	中オウンゴール													
29	桐蔭学園中学校	10	岩坂 公陽	1-2	左11	中10S													
35	桐蔭学園中学校	2	新谷 有輝	1-3	右5	中2S													
PK戦の経過																			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
[試合時間]	前半	9:30	(10:02)	後半	10:12	(10:45)	試合所要時間				1:14								
[戦評]	記入者 : 津金 直樹				所属 : 山梨県														
両チームとも、前半立ち上がりから激しい攻防が展開された。桐蔭中は⑤、⑨をターゲットにしながロングボールを多用し、②、⑩のクロスからチャンスをつくる。一方の目黒中も粘り強い守備と、⑨⑩を起点にサイドのスペースを活用して攻撃を仕掛けようとするがシュートにまでは至らない。11分桐蔭中は⑩のセンターリングを②のヘディングシュートで先取点を獲得する。やや押し込まれる展開となった目黒中も29分⑦のセンターリングがゴール前の混戦となり、オウンゴールで同点とする。しかし終了間際の30分、桐蔭中は⑪の絶妙なセンターリングから⑩がキーパーの前でシュートし勝ち越して前半が終了した。後半は、立ち上がり目黒中が前からのプレスからボールを奪い、チャンスをつかもうとするが、34分、桐蔭中のコーナーキックから⑤のシュートを②が押し込み3点目を奪う。目黒中も反撃し、43分⑩を起点にスペースに入り込みシュートを狙おうとするが、守備範囲が広い桐蔭中の守備を崩せず試合が終了した。高さ1対1の強さが目黒中の良さをさせない展開となり、桐蔭中が準決勝進出ならびに全国大会出場を決めた。																			

競技運営
責任者

主審